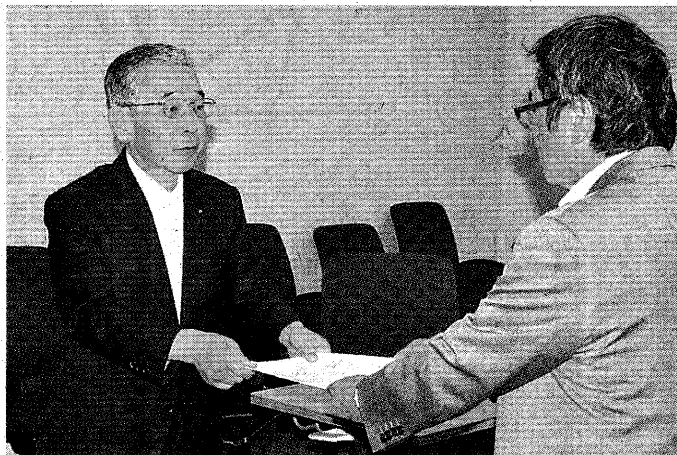


島根3号機 厳格審査要請

溝口知事 規制庁に7項目



原子力規制庁の安井正也長官（右）に要望書を手渡す溝口善兵衛知事—東京都港区、原子力規制庁

つ安全に避難できるよう国が前面に立って必要な取り組みを進めることなど2項目を求めた。

審査申請を巡って中電は5月22日、立地自治体と結ぶ安全協定に基づき松江市と島根県に事前了解を申し入れ、周辺自治体の鳥取県と原発から30キロ圏内の出雲、安来、雲南、米子、境港の5市には事前報告した。8月9日の島根県を最後に関係自治体全てが容認したのを受け、10日に規制委に申請した。（白築昂）

島根県の溝口善兵衛知事が22日、原子力規制庁を訪れ、中国電力が新規稼働を目標して原子力規制委員会に申請した島根原発3号機（松江市鹿島町片匂）の新規制基準適合性審査を厳格に行うよう要望した。

規制庁の安井正也長官と面会した溝口知事は、最新の知見を踏まえた審査や審査結果の丁寧な説明など7項目を規制委に求め、「原

発が存在し、活用する限り、安全への理解を十分確立してやってほしい」と訴えた。安井長官は「要請された項目は委員会としても志すところだ。順次取り組んでいく」と答えた。

溝口知事はこのほか、経済産業省に原発の必要性や国のエネルギー政策などの丁寧な説明や核燃料サイクルの課題解決など3項目、内閣府には事故時に迅速か